

令和7年6月20日

TerraVerse®ご利用者各位

株式会社パスコ
Skyline 製品サポート窓口

TerraVerse®(テラバース) バージョンアップのご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび株式会社パスコが提供する 3次元地理空間情報データ配信プラットフォーム「TerraVerse®」につきまして、バージョンアップを実施する運びとなりましたので、下記の通りご案内申し上げます。

「TerraVerse®」は、米国 Skyline 社の 3次元地理空間情報データ配信ソフトウェア SkylineGlobe Server を活用した 3次元配信サービスです。新バージョンである SkylineGlobe Server 8.2(日本語版)の採用により、パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末のブラウザ上で 3次元データの閲覧性能と、点群データと三次元データなどの描画速度が向上し、より快適にご利用いただけるようになりました。TerraVerse®の詳細な内容については別紙を、SkylineGlobe Server8.2.1の詳細な内容については、リリースノートをそれぞれ参照ください。

つきましては、「TerraVerse®」のバージョンアップに伴う計画メンテナンスを実施いたします。メンテナンスは、SLA(サービスレベルアグリーメント)にて定義した運用時間外に行いますが、事前にご案内いたします。

ご利用のお客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 計画メンテナンス日程

7月 4日(金) 18:00 ~ 7月 7日(月) 8:00 バージョンアップ
7月 11日(金) 18:00 ~ 7月 14日(月) 8:00 予備日

敬具

別紙

3次元地理空間情報データ配信プラットフォーム「TerraVerse®」について

「TerraVerse®」は、クラウドサービス上で3次元地理空間情報データを管理・配信できるプラットフォームサービスです。クラウドは AWS を、配信システムは米国 Skyline 社製「SkylineGlobe Server」を用いています。

全国、県全域など広域に整備された航空写真地図、航空レーザ測量成果、3次元モデル等の種多様な地理空間情報のデータを保存・管理・配信できるサービスです。

以下に、TerraVerse®の主な特徴を示します。

◇ TerraVerse®の特徴

- TerraVerse®に登録された地理空間情報を、ウェブブラウザを介して閲覧可能（データ閲覧に、ソフトウェアのインストールは不要）
- スマートフォンやタブレット等の**モバイル端末**からも3次元データの閲覧が可能
- 2次元・3次元地理空間情報データのほか、CAD、BIM/CIM データなどが利用可能
- ウェブブラウザだけでなく、デスクトップソフト(TerraExplorer)を利用することで、**高度な解析や、データ入力**などが可能

◇ 民間クラウドサービスである AWS の利点

- **初期費用**（ハードウェア費用・システム構築費用）を**抑えたサービスの提供**
- システム運用にかかわる煩わしさの解消
- **AWS**(AmazonWebService)の**日本国内**データセンターを利用しており、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）相当を満たした民間クラウドの利用

※SkylineGlobe Server は、米国 Skyline 社が販売する 3 次元地理空間情報データ配信ソフトウェアであり、オンプレミス環境や、AWS（Amazon 社のクラウドサービス）、Azure（Microsoft 社のクラウドサービス）などの民間会社が提供するクラウドサービス上に構築することが可能です。

クラウドへのデータ保存（アップロード）は、Skyline 社が販売する TerraExplorer Pro を用いて実施します。SkylineGlobe Server や TerraExplorer Pro といった Skyline 社製品は、日本代理店を介して購入することが可能です。更に、システム開発環境も提供されており、機能のカスタマイズやシステム構築が可能です。

